

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北 進一	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。（等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など）			
【講義概要】			
研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともあります。現地で間近に見るのは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動		
2	智積院宝物庫見学		
3	南禅寺特別拝観見学		
4	平等院見学		
5	石峰寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
【成績評価方法】			
研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とする。研修に参加しない学生にはレポート課題を提出。 和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る－仏像めぐりハンドブック』（シンコミュニケーション・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究	鈴木吐志哉 馬場知子	15単位 384時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画表現における各自のテーマにそった表現方法コンセプトを考察・研究・制作する。卒業制作を始めるにあたりファインアート科3年全体のグループ展覧会を行う。いかにして自己の版画作品を有効に提示出来得るか検証し、グループ展示を通して展覧会の準備、運営など作品発表に必要な手順を学ぶ。</p>			
【講義概要】			
<p>版画作品を2点制作します。グループ展示。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導	86	～90 制作、制作指導
6	～10 制作、制作指導、中間チェック	91	～95 制作、制作指導
11	～15 制作、制作指導	96	～100 制作、制作指導
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、制作指導
21	～25 制作、個別指導、中間チェック	106	～110 制作、制作指導、中間チェック
26	～30 制作、制作指導	111	～115 制作、制作指導
31	～35 制作、制作指導	116	～120 制作、制作指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	121	～125 制作、制作指導
41	～45 制作、個別指導	126	～127 制作、制作指導
46	～50 制作、個別指導	128	講評会
51	～55 制作、制作指導		
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際版画会議-木版ぞめぎ-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p> <p>馬場知子：1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展（駐地梅太郎賞）、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ（優秀賞）、（社）日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	展覧会ワークショップ	鈴木吐志哉	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>2年次に制作した作品を使い、ギャラリープリントでのグループ展示を行う。 学生間でディスカッションを繰り返し、展覧会の準備、実際の展示作業からポートフォリオに至るまで、展覧会の様々な側面を体験しながら実践的に学ぶ。 各自の制作を再確認し、各自の制作の足固めをより強固にする事を目標とする。</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次の「技法と表現A」「技法と表現B」で制作した作品のギャラリープリントでの展示（2023年6月7日（水）- 6月17日（土）） ・ 展示計画のディスカッション ・ ポートフォリオへの反映 ・ 開催中の展覧会の見学 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	グループ展示について		
2	ポートフォリオについて 1		
3	展示の実際 1		
4	ギャラリー見学		
5	ポートフォリオについて 2		
6	展示の実際 2		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめぎ-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	鈴木吐志哉 東樋口徹 中村真理 馬場知子	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
専任教員および非常勤講師との個別面談や指導を対話方式で行い、各自のテーマや制作コンセプトについて研究する。また講評会により各自のテーマおよび技法を深め、研究成果が最大限に反映された作品の制作を目指します。			
【講義概要】			
版画4作品制作（1作品につきシート1枚提出。※4作品は提出後、指定期日までに額装もしくは展示可能な状態にする事）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導	86	～90 制作、制作指導
6	～10 制作、制作指導、中間チェック	91	～95 制作、制作指導
11	～15 制作、制作指導	96	～100 制作、制作指導
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、制作指導
21	～25 制作、個別指導、中間チェック	106	～110 制作、制作指導、中間チェック
26	～30 制作、制作指導	111	～115 制作、制作指導
31	～35 制作、制作指導	116	～120 制作、制作指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	121	～125 制作、制作指導
41	～45 制作、個別指導	126	～130 制作、制作指導
46	～50 制作、個別指導	131	～135 制作、制作指導
51	～55 制作、制作指導	136	講評会
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。 東樋口 徹：1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。 中村 真理：1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。 馬場知子：1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展（畦地梅太郎賞）、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ（優秀賞）、（社）日本版画協会会員。			